

キャンパス・リビングラボラトリ小委員会（日本建築学会 都市計画委員会）
公開小委員会・勉強会のお知らせ

「リビングラボラトリ」を都市や社会の持続的発展へ どうつなげていくか

日本建築学会におけるキャンパス計画研究の成果として、当小委員会にて企画・執筆しました「キャンパスの
ようにまちをつくりまちのようにキャンパスを使う～大学キャンパス再生のデザイン」（2020年2月頃発売
予定）において、「リビングラボラトリ」という言葉は重要なキーワードとなりました。

その発展形として『「リビングラボラトリ」を都市や社会の持続的発展へどうつなげていくか』を考えること
は、2020年度の当小委員会の大きなテーマです。

「リビングラボラトリ」というキーワードは、人や分野によって、そのイメージや使い方に相当の幅があると
考えられます。当小委員会では主に、大学の実証実験、あるいは都市計画やまちづくりに関連した使われ方が
中心となっていますが、それでもその捉え方には幅があるでしょう。

この会はこれらを考える端緒として、建築学会以外の、まちづくりの実践や計画にかかわる方々へも幅広くご
参加をお願いし、その議論を深めようとするものです。出版の成果をベースとしつつ、各著者から「リビング
ラボラトリ」の範囲・視点・考え方を簡潔に解説し、幅広い実践者からコメントを頂くことで、この言葉を
これからの都市の重要なコンセプトとして、ともに磨き上げていきたいと考えています。

日時：2020（令和2）年3月20日（金・春分の日） 13:30～17:00

場所：建築会館（JR田町駅 徒歩5分）会議室 301+302、定員：先着30名、参加無料

プログラム

(1) 開会挨拶・趣旨説明：小篠隆生（主催小委員会 主査、北海道大）

(2) 関連各節著者より簡潔に「リビングラボラトリ」を解説

倉田直道（工学院大名誉教授、序文ほか）、小松 尚（名古屋大、1-4 節）、
上野 武（千葉大、1-5 節ほか）、塚本俊明（広島工業大、2-5 節）、
太幡英亮（名古屋大、3-6 節ほか）、吉岡聡司（大阪大、4-4 節ほか）ほか

※ 上記が「リビングラボ」について触れた全著者ではありません。

※ また当日、解説者が変更されることがあります。

(3) ゲストからのコメント：

齋藤敦子氏（コクヨ（株）、（一社）Future Center Alliance Japan 理事、
JFMA オフィス・ワークプレイスの知的生産性部会長）

福留和彦氏（大和大、経済学専攻、箕面船場まちづくり協議会理事、
サイバー適塾（関西経済同友会）元学界講師）

(4) ディスカッション：モデレーター 小篠隆生（前掲）

会場のみなさま全員にご参加いただきたいと考えています。

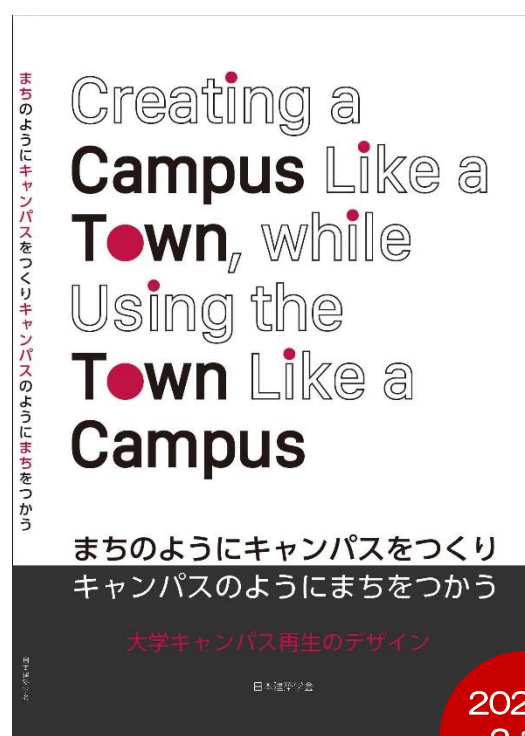
(5) まとめ：武田史朗（立命館大、3-3 節ほか）

司会：池内祥見（大阪大、4-6 節ほか）

記録：吉岡聡司（前掲）

お申込み・お問合せ：吉岡聡司 sato.yoshioka@gmail.com

※ 当日参加も可としますが、できるだけ事前にメールで、
タイトルを「3/20 勉強会」としてご連絡ください。



2020年
2月頃
発売予定